

武内 たくうち まさふみ

伝えます！県政の現在と未来

<ごあいさつ>

4月30日の県議会議員就任から、早や9か月が過ぎました。おかげさまで、このたび県政報告第3号を発行することができました。今回は、12月定例県議会での主な議決案件の報告と私が提案した「道の駅」をトピックとして紹介いたします。

12月定例県議会 平成23年12月2日～12月22日

可決された主な議案

- ①一般会計補正予算 41億4,934万1千円**
○さいたま新都心への医療拠点整備のための土地の鑑定評価 (340万円)
○災害拠点病院に応急用医療資器財を整備 (3,285万1千円)
○地域医療再生基金への積み立て (41億1,308万5千円)
- ②知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例の一部改正条例**
毛呂山町、越生町在住の方は、パスポートの申請・交付が、平成24年10月1日から（予定）坂戸市役所でできるようになります。
（*パスポートセンター川越支所まで行かないですみます。）
- ③工事請負契約の締結**
埼玉スタジアム2002の大型映像装置改良工事（9億51万円）をはじめ、道路改築工事など5件の請負契約
（*予定価格が5億円以上の工事請負契約は、県議会の承認が必要です。）
- ④指定管理者の指定**
埼玉会館、奥武蔵あじさい館、上尾運動公園など7つの公の施設の管理者を指定。
（*指定管理は、公共施設の管理運営を民間事業者に包括的に委任する制度です。）
- ⑤埼玉県私立学校助成審議会条例（議員提出条例）**
県独自の審議会を設置し、県内私立学校に対する県の助成基準を公正で透明化します。（*東京都、愛知県に続いて全国3番目。）
- ⑥平成22年度一般会計、特別会計、公営企業会計の決算の認定**
- ⑦特別委員会の設置**
2つの特別委員会が新たに設置されました。
○5か年計画特別委員会（20人）
知事から提出された5か年計画を審査します。
○予算特別委員会（16人）
平成24年度予算を審査します。
（議案の詳細は、県議会ホームページをご覧ください。）
<http://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/>

『自転車の安全利用の促進に関する条例』が

平成24年4月1日から施行されます。

- 自転車利用者の責務として、自転車損害保険へ加入することをはじめ、定期的な点検・整備をすること、防犯登録やひったくり防止のカバーの装着などの防犯対策を施すこと等が努力義務とされました。
- 小売業者の責務を規定しました。
- 県は、高齢者や自動車などの運転免許所持者に対して、免許更新時などに交通安全教育を行うこととしました。
- 自転車安全利用指導員を委嘱して、街頭で指導できるようにしました。
- 毎月10日を「自転車安全利用の日」とします。



自転車及び歩行者専用



自転車横断帯



横断歩道・自転車横断帯



自転車専用



自転車通行止め



並進可

自転車安全利用の日「毎月10日」

12月定例県議会

産業労働企業委員会での質疑の様子



特集 道の駅 I

私は、地域の活性化策の一つとして、「道の駅」を提唱しました。飯能寄居バイパスはよいよ今年2月18日に毛呂山町分が開通する運びとなりました。平成25年にはホンダの寄居工場が稼働を開始するなど、この八高線沿線地域も新たな展開が期待されています。こうした中で、当地域は、観光スポットをはじめ梅やゆず、地元野菜などの観光資源を持っており、道の駅は地域活性化につながる可能性を秘めています。そこで、この度は、「道の駅」とはどのようなものかご紹介いたします。今後、実現に向けて、皆さんの一層のご理解と盛り上げりを心から期待しています。



埼玉県の「道の駅」マップより抜粋



道の駅 Q&A

問1

道の駅は、地域にとってどんなメリットがあるの？

答1

道の駅には3つの機能があります。①道路を使用する人が終日休憩できること、②地域の文化や名所の活用や特産品の販売など地域の観光資源を発信すること、③道の駅により地域の核が生まれ活力ある地域づくりや、道を介して近隣の市町との連携関係が生まれることです。ここでの農産物や地域ブランド品の直売などにより、他の地域からの入込客も期待でき、「地域おこし」につながります。

問3

整備にどのくらい費用がかかるのか？補助金は使えるのか？

答3

道の駅の形態は、道路管理者の国や県が休憩施設を作り市町村が地域振興施設を作る「一体型」と、市町村が単独で休憩施設と地域振興施設を作る「単独型」の2つがあります。規模や形態によりますが、費用は、例えば「一体型」である道の駅「はにゅう」の場合は、5億4,700万円(面積17,500㎡)でした。その内訳は、県が2億4千万円、市が3億7百万円を支出しました。補助は、国土交通省や県の各種補助金や貸付金などが考えられます。

問2

道の駅は国道沿いでないとできないのでは？

答2

そんなことはありません。埼玉県内には現在18の「道の駅」があります。そのうち国道沿い以外では、県道沿いに5ヶ所、町道沿いに1ヶ所あります。要は、道路の休憩施設ですので、道路沿いであることが条件です。

問4

整備費以外で大事な点は何か？

答4

施設の管理主体を決めておく必要があります。市町村が直営で管理している所はほとんどなく、商工団体や第3セクター、JAなどのケースが多くなっています。また、町の中長期計画の中に、整備計画を位置づけることも重要になります。

問5

地域の直売所と競合することはないのか？

答5

道の駅に野菜などの直売所を設ける場合には、地域との直売所との住み分けや統廃合などさまざまな課題について、あらかじめ協議して決める必要があるでしょう。

県道飯能寄居線バイパス(葛貴工区)開通
平成24年2月18日(土)
 記念セレモニー 12時から(毛呂山町役場側)
 供用開始 16時から

武内まさふみの活動日誌

- ① 環境基本条例検討委員会のメンバーとして、条例案を検討(11月~12月)
- ② 貧困問題プロジェクトチームの一員として、勉強会を開催(11月7日)
- ③ 寄居林業事務所管内の林業関係の事業を視察(11月8日)
- ④ 常任委員会の視察 新潟県、長野県(11月10日~11日)
- ⑤ 林業対策協議会の知事要望(11月18日)
- ⑥ 食と農林業ドリームフェスタへの参加(11月19日)
- ⑦ 鎌北湖紅葉まつりへの参加(11月20日)
- ⑧ 最先端技術振興議員連盟による先端企業の視察(11月24日)
- ⑨ 自民党県議団による宮城県仙台市、南三陸町の被災状況の視察(11月28日~29日)



▲津波被害にあった南三陸町防災対策庁舎前にて

2月定例県議会の予定 平成24年2月20日~3月26日